

令和3年度第7回小金井市農業委員会農政部会
(小金井市農業振興計画策定) 会議録

開催日時	令和4年2月18日(金) 14時30分から15時55分まで			
開催場所	小金井市役所第二庁舎801会議室			
出席者	委員	岩本千絵、大久保勝盛、加藤健治、岸野有次、高橋金一、谷合正明 益田智史、松嶋あおい		
	その他			
	事務局	高橋事務局長、山崎係長、江平主任 (株) 地域計画建築研究所(アルパック) 2人		
欠席者	3人			
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可	不可・一部不可	傍聴者数	0人
議事日程	1 開会 2 部会長挨拶 3 議題審議 (1) パブリックコメントの実施結果について (2) 計画書のデザインについて (3) その他 4 閉会			
配布資料	次第 資料1：小金井市農業振興計画(案)に対する意見及び検討結果について			

1 開会

2 部会長挨拶

3 議題審議

(1) パブリックコメントの実施結果について

事務局 資料1「小金井市農業振興計画（案）に対する意見及び検討結果について」をご覧ください。12月の第6回農政部会を経て庁内調整を行った後、12月27日から令和4年1月26日にかけてパブリックコメントを実施いたしました。

2人から合計11件のご意見をいただきました。内容につきましては計画を応援していただいているような内容や、具体的な施策についてのご意見が主でした。

[資料に基づき事務局説明]

計画案につきましては、部会長方と相談の上、パブリックコメントを受けての修正はなしと決定いたしました。

手続きに関しましては、計画案を2月1日付けで農業委員会から市に答申し、また、農業経営基盤強化促進法に基づくJAと農業委員会の意見聴取を経て、2月14日付けで東京都への同意協議を行っている状況です。

また、「小金井市農業振興計画（案）に対する意見及び検討結果について」は、農業委員会としての回答となります。検討結果の内容につきましては、本日は皆様にご意見をいただいた上で公表していきたいと考えています。

委員 検討結果については、この部会の後の農業委員会の総会でも検討するということでしょうか。

事務局長 まず、計画案の策定につきましては、農業委員会が市長から諮問を受けて、専門部会として農政部会を設置し、検討を重ねてきた経過があります。

市は、JAと農業委員会から意見聴取しなければならないため、農業委員会としては、計画素案の段階で答申を出したという形になっています。

パブリックコメントに関しましては、農業委員会からパブリックコメントをかけておりますので、検討結果は農業委員会の総会です承をいただいた上で公表する流れになります。

寄せられた意見に対する原案は事務局で整理しておりますが、農業委員会からの回答となりますので、ご意見をいただきたく思います。

委員 検討結果について、2箇所気になるところがありました。

まず、2頁4番の検討結果に「市内には、地域交流等に積極的な農業者がいる一方で、地域交流等の活動は行っていないものの精力的に農業生産に取り組まれている農業者もいます。」とあります。この「地域交流等の活動は行っていない」の表現をもう少し柔らかくした方が良いように感じます。

次に、4頁8番に「農地は個人の財産であるため、農地所有者にご協力いただく必要があります」とありますが、小金井市では防災協力農地はあるのでしょ

か。

上段で、「都市農地に期待する機能の一つとして、災害時における食料の供給や避難場所としての機能があります」と説明があるのですが、続く「農地は個人の財産であるため」以降の文章を読むと、災害時に協力をしてくれる農地がないような印象を与えてしまうように感じます。

実際に周知されていないだけで、市内の各所には防災協力の登録農地があるのであれば、表現を見直した方が良いかもしれません。

事務局長 J A東京むさしと市で災害時の避難場所や食料の供給に関する包括的な協定は結んでいます。市内には防災協力農地として登録している農地はありません。

一方で、東京都の補助金を活用させていただきながら、要望に応じて防災兼用農業用井戸の整備を行っています。地域安全課と連携し、災害対策用の井戸として位置づけています。

その先に進めるためには、個別の農地を防災協力農地として登録していく必要がありますが、現時点ではそこまで進んでいません。そのため、防災機能があるから頼りにして良いのだと捉えられてしまうと、農地所有者に対して過剰な負荷がかかってしまうのではないかという懸念があり、現状の表現になっています。

委員 そのような理由があるのでしたら、現状のままで問題ないと思います。

事務局長 ネガティブな印象を与えてしまう恐れがあるのでしたら、文言の整理につきまして検討いたします。

委員 ご指摘のありました「地域交流等の活動は行っていない」農業者の表現に関しましては同様の印象を受けましたので精査していただきたく思います。

防災協力農地に関しましては、過去に農政運動を行っていた時の記述内容のままになっています。当時から具体的にすべきことを予想した上で、詳細を詰めることが課題となっていました。しかし、その後には手をつけられていないのが現状です。

今後、いつ起こるか分からない災害に対して、農業委員会としても、防災協力農地に関しては課題である旨の認識をしておりますので、市と相談をしながら農地の役割をどのように位置づけるかについて詳細を詰めていく必要があると考えています。

部会長 今後は個別の農地所有者と災害時の取り決めを行っていく必要があるということですね。

委員 農地所有者が理解を出来ていない状況で災害が起きてしまうと大変なことになってしまいますので、そうなる前に対策を講じる必要があると考えます。

委員 5頁10番のご意見に「給食に利用する食材を有機野菜などにしていってほしい」とあります。農業者は農林水産省から出ている指針に基づいて生産を行っています。きちんと生産履歴もつけて報告をしています。指針に基づき生産した野菜は安全と言えるでしょう。

生産者の立場からすると、給食に野菜を提供する場合に様々な申し合わせ事項があります。有機にした場合、虫食いや形・色味の良くない野菜が出て

しまいます。そのような野菜を提供しようとしても学校側に拒否されてしまう場合もあります。そのような事情についてもご理解いただきたいです。

委員 計画書23頁の基本施策4に記載されているように、有機ではなくとも小金井市では東京都エコ農産物認証制度をはじめ、環境保全型農業を推進しており、また、農業者も減農薬など環境保全型の農業に取り組んでいる旨を説明してはいかがでしょうか。

部会長 意見を寄せてくださった方は、極力農薬を使用せず生産してほしいという考えだと思います。それに対しての回答としては、農業者はちゃんと基準を守りながら、安全な生産を行っているということですね。しかし、それが保護者の方々に伝わっていないという現状があるのかもしれない。

事務局長 寄せられた意見自体が給食に特化した内容になっているため、回答もそれに沿った形になっているのですが、もう少し幅を広げて、東京都エコ農産物認証制度や減農薬の話など、環境保全型農業に取り組んでいる旨説明をすると良いのではないかとということでもよろしかったでしょうか。

委員 そのとおりです。

部会長 その他にご意見はございますでしょうか。
無いようですので次に移ります。

(2) 計画書のデザインについて

事務局 1月20日(木)に有志の方にお集りいただき、表紙のデザインについて検討いたしました。その際にいただいたご意見を基に表紙のデザイン案を作成いたしました。

[資料に基づき事務局説明]

本日、完成品のイメージをしていただきやすいよう、計画書の中身のデザインにつきましても、現段階のものを提示させていただきました。見やすさなどについてご意見等ございましたらお聞かせください。

表紙や計画書内のデザインにつきましては、本日いただいたご意見を基に修正し、最終的には部会長方と調整の上決定させていただきたく思います。

また、前回の会議で市のイメージキャラクターであるこきんちゃんの使用についてご意見をいただきました。担当課に確認したところ、キャラクター使用についての許可をとる必要があるため、どのように使用するかを事前に打診する必要があるとのことでした。

イラスト以外を使用する場合は、ロケーション撮影を行う必要がありますので、そのあたりも含め皆様にご意見をいただけたらと思います。

キャラクターを表紙の隅や裏表紙などにポイントとして使用する場合にはイラストで対応したいと考えております。

委員 表紙のデザインについてですが、宝船の右上と左上にある2つの料理は何をイメージして描かれているのでしょうか。

事務局 右上の料理は地場産野菜を使用したカレーライス、左上はピザです。計画書の20頁にある親子収穫体験と地場産野菜の試食会で作られたものを参考にしています。

- 部会長 前回の有志による検討会で、料理や加工品は、写真ではなくイラストにする方向で決まりましたのでこのような形になっています。
- 委員 他にも左上の女性農業者の左手にある野菜は何でしょうか。
- 部会長 こちらはブロッコリーです。
- 委員 また、宝船の下のボードの画像に文字が書かれていますが、文字が不鮮明で読みづらい印象を受けます。
- 委員 文字がはっきりしないようなら載せない方が良いでしょう。
- 副部長 このボードはイラストにしてはいかがでしょうか。
- 委員 その他にも、バターナッツとさつまいも、ブロッコリーなど、野菜の写真に関しまして、小金井市で良い野菜を作っているというPRにもなりますので、もう少し綺麗な写真を使用した方が良いでしょう。良い写真がないのであればイラストにする等対応した方が良いでしょうと思います。
- 委員 右下のトマトと柚子は何故並ぶのだろうと不思議に感じる点もあります。
- 委員 小金井市の代表的な花はポインセチアなのではないでしょうか。
- 委員 花はポインセチアが代表的だと思います。
- 委員 野菜の写真につきまして、カボチャもより色の濃い写真に変更いただけると良いでしょうと思います。
- 委員 確認が必要なのですが、JAの広報で使用している野菜や花き、宝船の写真もある可能性があります。もしご用意できるようでしたら、協力させていただきます。
- 委員 前回のデザイン検討会に参加出来なかったの確認させてください。表紙は絵と写真が混在するようなデザインなのではないでしょうか。実際の地元の農業者の写真を使うのは難しいのでしょうか。
- 部会長 どなたの写真を使うかを決めるのが難しく、また、約10年間の計画であるということもありますので、加工品と同様、農業者は写真ではなくイラストで描くことになりました。
- 委員 農業者の衣装が全て冬服なのが気になります。
- 委員 4月に発行する計画書なので春の装いにふさわしい衣装を取り入れても良いかもしれません。
- 事務局 春夏秋冬の服装を取り入れる方向で調整したいと思います。
- 委員 植木は加えられないのでしょうか。
- 事務局 植木については写真などを含めどのようなイメージのものを入れたら良いか事務局でも議論になりました。その点につきましてもアドバイスをいただきたいです。
- 委員 花が咲いている状態の植木はインパクトがあるかもしれません。常緑樹だけだとインパクトに欠けるかもしれません。
- 委員 農業祭のある11月に花が咲いているものだと、椿や山茶花などが挙げられます。実がなるものとしては、ツルウメモドキなどがあります。
- 部会長 実がなるものだと、みかんや柚子などもあります。
- 事務局 寄せ植えはいかがでしょう。
- 委員 寄せ植えは、植木も入っていますが、草花が主のように感じます。

事務局長 柑橘系だと、果樹としても存在してしまうのが気になります。

部会長 写真があるかが問題ですが、農業祭の植木組合がプランターで作っているウェルカムツリーはいかがでしょうか。

事務局 植木につきまして、選択枝の一つとして、良い写真がなければ、職人が植木の剪定をしているイラストを描くというのも考えられますが如何でしょうか。

委員 剪定だと造園のイメージが強くなってしまう懸念があります。生産と造園の両方に取り組んでいる方もいますが、表紙に載せるのであれば、植木の生産をしているイメージの方がより適切かと思います。

部会長 植木組合の法被を着ている人物をイラストに加えては如何でしょうか。

委員 野菜を持っている人物が2人いますので、差し替えても良いかもしれません。

委員 小金井市では年に2回苗木の無料配布を行っているため、そこで配布している植木を持っている植木農家の恰好をした人物のイラストがあると雰囲気が伝わるのではないのでしょうか。

事務局 サンプルになるような写真がありましたら、それを参考にデザインの修正をしたいと思いますのでご協力をお願いします。

副部長 宝船の先端にある稲穂は何でしょうか。

委員 宝船自体に付いている稲穂です。

委員 実物の宝船はインパクトがありますが、周りの野菜が大きいせいかここで見ると小さくまとまってしまっている印象を受けます。もう少しインパクトがあると良いように思います。

事務局 周りの野菜等と比較して、もう少し宝船が目立つ形にすると良いということですね。

部会長 表紙のデザインにつきまして、宝船の周り全てに野菜があると、宝船と野菜が重なってしまい雑然とした印象を受け、イメージがつかみにくいように思います。宝船を中心にもう少し小さくした野菜を下半分、人物や加工品は上半分に分けて配置するなど、テーマによって整理してはいかがでしょうか。

副部長 さつまいもとその右横の人の服が紫であったり、ポインセチアとイチゴが赤幕と重なっていたり、同系色が重なっている箇所が見受けられるため、写真の配置を含め、もう少しコントラストがあると良いように思います。

事務局 宝船の紅白の横断幕は入っていた方が良いでしょうか。

部会長 多少削っても良いかもしれません。

委員 こきんちゃんに関しましては、知名度も高いので、いたるところに使用しても良いのではないかと思います。

部会長 こきんちゃんのロケーション撮影をするのは時間的に難しいのでしょうか。

事務局 具体的なイメージをお伝えいただければ、そこに向けて調整するよう努力いたします。

部会長 使用できるこきんちゃんのイラストは、よく見る両手を広げているイラストでしょうか。

事務局 そうです。

副部長 表紙の色の候補として、空のような爽やかな水色はいかがでしょうか。

- 事務局 中表紙に緑色が使われているため、被らない方が良くと思いました。
- 事務局 中表紙につきましては、現在の中表紙はあくまでも仮のもので、最終的には表紙の色に合わせる予定です。
- 副部長 表紙と中表紙の色は異なっても良いかもしれません。
- 委員 表紙のカレーライスのお皿もブルーで被ってしまいそうですが、私も水色に賛成です。
- 部長 色につきましては、最終的には正副部長で決めさせていただきますが、概ね水色の方向で進めさせていただきます。
- 部長 計画書のタイトルのフォントについてのご意見はありますか。
- 委員 線が太い方が良くと思います。
- 委員 私も太い方が良くと思います。
- 委員 私も太い方が良くのですが、このフォントですと、小金井の「井」が変形し過ぎているように感じます。
- 部長 方向性としては、太字で、「井」の形が改善されると良いということですね
- 副部長 文字の色は黒で決定でしょうか。黒だと強すぎるように感じます。
- 事務局 黒以外の色も可能です。
- 委員 小金井市のフォントの色は、決まっているのでしょうか。
- 事務局 決まっていません。
- 部長 背景が爽やかな水色としたときに対比としてきれいな色は何色でしょうか。
- 事務局 群青色などはきれいかもしれません。
- 一方で、沢山の写真やイラストが入っており、全体的にカラフルなため、文字にも色を使ってしまうと文字が目立たなくなってしまう可能性が考えられます。
- 副部長 細字の黒色は問題ないと思うのですが、太字だと強すぎる印象を受けますので、もう少し柔らかい雰囲気になると良いように思います。
- 部長 デザインに関する様々なご意見ありがとうございます。最終的には正副部長で決定させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。
- 委員 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。
- 委員 その他ご意見等ございますでしょうか。
- 委員 計画書の中身についてですが、26頁にセミナー農園のイラストが入っています。これから始める事業になりますので、「令和〇年開園」のような記載があると良いように思います。
- 事務局長 今年の3月に開園する予定ですので、表記については検討いたします。セミナー農園（仮称）とありますが、正式名称が決定いたしましたので、変更いたします。
- 部長 その他ご意見ございますでしょうか。
- 委員 計画書の9頁右下の「学校給食における地場産野菜の使用状況の推移」のグラフをみると、平成30年をピークに減少していることが見受けられます。続いて、23頁「4-2 食育の推進」に、「小中学校等と連携し地場産農産物の学校給食への利用拡大を図ります」とありますが、連携だけでは解決できないところを、なぜ減少していて、今後どう対処していくのか、について具体的な

施策を講じ、取り組んでほしいという意見が所内で回覧した際に出ました。

事務局長 使用率の減少は新型コロナウイルスの影響によるものです。一時的なものとして楽観視しているわけではありませんが、農業や学校での取組以外の外的要因により減少しているということをまずご理解いただきたく思います。

これまで、農業者と学校給食の栄養士、農業委員、経済課、教育委員会の職員も入り懇談会を行ってきました。その結果として使用率が右肩上がりに伸びています。

この先さらに進めていくために、小平市や三鷹市が行っているような、インセンティブをつけるような施策を検討しています。しかし、現在新型コロナウイルスの状況により具体的に何をいつ取り組むのかについて見通しを立てるのが難しい状況です。行政としましては、小中学校と連携をして拡大を図っていく中で、更に具体的な施策に落とし込んでいく方向性を持っています。

部会長 現在、若手農業者でも生産緑地の貸借制度を活用して学校給食用の野菜の生産に向けた動きが出てきていますので、右肩上がりに進めていけたらと思います。

委員 一般の方が見た際に、何故減少しているのか疑問に持たれると思いますので、新型コロナウイルスの影響により減少している旨の注意書きを加えたいかがでしょうか。

事務局 10頁左下のキャプションで新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休校に伴い、学校給食用の野菜を一般向けに販売した取組を記載し、若干ではありますが触れています。

委員 読む人は、そこまで読み進めない可能性もありますので、注意書きを加えるとしたらグラフのある場所が良いと思います。

委員 市長のご挨拶が計画書の冒頭にあるようでしたら、そこで新型コロナウイルスの影響について触れていただくと状況が伝わるかもしれません。

事務局長 9頁「■学校給食」の文章内で、新型コロナウイルスの影響について説明があると良いということですね。「新型コロナウイルスの影響により平成31(令和元)年度以降は減少傾向です」のように加筆修正を行うと、分かりやすくなるように感じます。

(3) その他

部会長 本日が最後の部会となりますので、皆様から一言ずつ、ご感想や今後の農業についてご意見をいただけたらと思います。

副部会長 市民として農業委員を務めさせていただき、この間農業について考えることが多かったように思います。市民の方にお話を聞くと、小金井市の農地が減っていることを実感している方も多く、SNSでも、「ここも宅地になり残念」といった投稿がよく見受けられます。農地は、農業者の方の所有財産ですが、農地がある小金井市が好きで越してくる方も多いためと思います。しかし、せっかく越してきても宅地化されるケースが多いのが現実です。

農業者の方は、苦情など色々なことを気にされています。私は農地を迷惑だと思ふ方より、好きだという方に小金井市に引越してきてほしいという想いが

あります。好きだという方に来ていただけると今後農地も残しやすくなるように思います。

難しいことではありますが、農地があることが小金井の魅力の1つだとすれば、農地を残しつつ、人口を増やしていくことが今後必要になってくるかと思えます。そのようにして小金井市の魅力を高めていけたら良いなと思えます

委員 これから特定生産緑地が始まりますが、それとリンクしてこの9年間の計画があります。10年後の小金井の農地がどのような状況になっているのか。

我が家も経験中なのですが、相続が起こると農地を売却して相続税を納税しなければならぬ現実があります。最終的には国に要請をして、国有農地化するなど公的機能として農地が残る形を実現しないと将来的に農地がなくなってしまう。農地が無くなることのないよう手を打たなければいけないと強く感じ直しました。

「農」あるまちづくりが永遠に続くように、「農」のあるまちづくりに取り組んでいきたいと思えます。

委員 この委員会に参加させていただき小金井愛の強い委員の皆様やパブリックコメントの内容からも、小金井市には農業を含め様々な取組を行っている方がいらして、オール小金井や「農」のある小金井を感じる事が出来ました。同時に、農業が小金井からなくなることはないだろうと安心感を持ちました。

現在、東京都も農業振興プランの見直しを始めています。他市でも、一年ごとの取組の進捗状況の確認を委員の方々と行っているところがいくつかあります。事務局にとっては大変かと思えますが、9年間と計画期間が長いので、毎年ではなくても進捗状況の確認すると良いように思えます。

委員 この度は参加させていただき大変勉強になり、また、刺激もいただきました。現在も市や農業委員会と良好な関係を築けているとは思いますが、「農」あるまちづくりの推進という意味でも、JAも同じ方向を向いて、今後も今まで以上に共に取り組んでいきたいと思えます。

委員 農業者以外の様々な業態の方と意見交換ができたことは非常に有意義でした。様々なご意見がありましたが、今後の農業生産に役立つものは積極的に取り入れて、微力かもしれませんが少しずつ農業の発展に寄与できればと思っています。

委員 商工会から参加している立場で申し上げます。現在、専業農家ではない農業者が大多数ではないかと思えます。商工会や、経営をされている不動産が商店会内にあるなら、商店会に入っていただくことも可能ですし、歓迎いたします。

農業者の方は自分たちのコミュニティの方のみと接してしまう傾向があるように思えますが、地域の活動を全く行っていない農業者はいらっしゃらないと思えます。実際の農業者の多くは、お寺や神社の活動を積極的に行っています。それとは異なる、主に一般市民や商業者が行っている地域活動への関わりの一歩として商工会や商店会にご参加いただけますと、新たな交流が生まれ、また、色々な情報が入り、拓けていくと思えます。

現在、小金井市には127戸の農業者がいますが、実際に農業を営んでいる農業者全戸に対して新しいデータや情報を提供する組織は経済課や農業委員

会のみでしょうか。農業者にとって良い情報を流していただいていると思うのですが、全農業者の下に情報を届けるルートがあるのか疑問に思い質問させていただきました。

- 委員 農業委員会は農地を管理しているため、農業者とは切り離されています。
- 委員 農業者全員に対するピンポイントなフォローはどこが担っているのでしょうか。
- 委員 J Aの組合員に関してはJ Aが把握しています。
- 委員 現状では、農業委員会の各支部とJ Aは組合員のみを対象としているということですね。
- 事務局長 実際、127戸の農業者のうち、J Aの組合員になっている方が多いです。市ではJ Aの回覧のルート利用させていただき、情報の周知などを行っています。
- 委員 この度は、観光まちおこし協会から参加させていただきましたが、日ごろは商店会や商工会をはじめ主に商の分野に携わっています。
- 基本施策5の「農」あるまちづくりの推進の取組内容を見ると、新規の取組が多くあります。これらは近い未来の小金井に影響してくれる新規の取組であると認識しています。
- ただし、この計画書を作成しただけで終わってしまうと何も始まりません。計画書を読むと、農業者だけでは出来ないことも多くあるように感じます。事業者や介護福祉、教育の現場の方など、一市民である私たち皆が協力、連携して進めていく必要があると思います。この先は、小金井の暮らしをより良くしていけるような楽しい活動が待っているように思います。
- 事務局 今後は、パブリックコメントの検討結果に関しましては、農業委員会の総会に諮り、本日頂きましたご意見を基に正副部会長方と調整させていただきます。デザインに関しましては、皆様のご意見を基にデザイナーと調整を行い、正副部会長にご確認いただいた上で最終案を確定させていきたいと思っております。
- 計画書の完成は3月末を予定しています。出来上がった段階で皆様にご報告させていただきます。
- 9か月間にわたりご協力いただきありがとうございました。

4 閉会

- 部会長 私も地域に対してどのように貢献できるかを考えながら、また、観光まちおこし協会の活動も行いながら参加させていただきました。
- 小金井市では、新たにセミナー農園が開園されました。また、都市農地貸借円滑化法を活用した事例が出てきたり、新規就農者も入ってきたりと、小金井の農業も変化しているように感じます。今後9年間、この計画を進めていき、10年後の小金井の農業がより良い方向へ進んでくれることを願い、この度は部会長を努めさせていただきました。
- 皆様のご協力をおもちゃしてなんとか完成間近までできました。感謝申し上げて、閉会とさせていただきます。皆様9か月間ありがとうございました。